著書、論文等の全業績リスト

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（西暦）　　年　　月　　日現在

|  |
| --- |
| **参考様式**  **記入例**  **【研究業績以外の業績に重点を置いた評価】** |

著書、論文等の全業績リスト

氏　名　　　○　　○　　○　　○（記名可）　　　　　　　２０１○年○月○日現在

【記入上の注意】

・項目毎に最近のものから順に番号を付す。「研究業績目録」に記載したものは、当該業績の先頭に○印を記入。

・全業績リストの作成にあたっては本記入例に従うことが望ましいが、研究業績に　含まれる項目及び各業績の著者、頁数（○○頁、○○～○○頁）、発行所、発表誌、発表年（月）等が判別できれば、必ずしも本記入例に厳密に従わず、任意の様式を使用しても良い。

１．博士論文

「○○に関する研究」（○○大学○○研究科）、2008年、200頁。

２．著書

○１）筑波花子、茨城太郎、「○○に関する研究」、○○出版社、2014年、330頁。

２）筑波花子、「第○章○○○」（○○編『○○○の研究』○○出版、○○～○○頁）、2013年。

○３）筑波花子、「○○に関する研究」（○○○研究会編『○○の分析』○○大学出版部、○○～○○頁）2010年。

３．査読付学術雑誌論文

　○１）筑波花子、「○○の考察」、○○学会論文集、12巻3号、　[印刷中]。

　○２）Tsukuba Hanako, Taro Ibaraki, “Japan and China, 1900-1910,” *Journal of Asian Studies*, Vol. 2, No. 4, pp. 30-41, April 2013.

４．査読無学術雑誌論文

１）茨城太郎、筑波花子、「○○について」、○○大学文学部『○○紀要』16集、120～145頁、2013年10月。

５．査読付国際会議論文

　○１）Tsukuba Hanako, “On the Disclosure of Diplomatic Records,” *Proceeding of 17th International Congress of East Asian History*, Macao, April 2012, 14 pages【PDF版】.

６．査読無国際会議論文

　　１）…

７．参考

**部局細則等で定める研究業績には含まれないが、研究業績の参考となるもの。**

**外部資金獲得状況を必須項目とし、その他に必要とする項目については部局毎**

**に設定すること。**

（以下の項目は例示。）

　[招待講演等]（招待講演等）

　　１）「○○について」（○○学会第3回年次大会基調講演）、2014年3月、○○大学

　　２）「○○の研究」（○○学会第24回総会招待講演）、2013年8月、○○研究所

　[外部資金獲得状況]

**※代表で獲得した外部資金を記載すること。**

**分担等で獲得した外部資金を記載する場合は、項目を分けて記載する。**

　代表

１）平成２３年度～平成２５年度　科学研究費補助金　（基盤研究C）

　　　　「○○に関する研究」

　　　　299万円（うち直接経費230万円）

　分担

　　１）平成２２年度～平成２４年度　科学研究費補助金　（基盤研究B）

　　　　「○○について」

　　　　分担、195万円（うち直接経費150万円）

　　　　代表：○○○○　総額　1400万円